

鯉ヶ窪池

(こいがくぼいけ)



全景



木道



ため池の概要

ため池の所在地

岡山県新見市

ため池の特徴

鯉ヶ窪池上流に広がる3.6haの湿原は、『西の尾瀬沼』とも形容され、300種類を超える植物が自生しています。

特に中層湿原としては珍しい、オグラセンノウやビッチュウフウロ、ミコシギクなどの貴重な植物が見られる他、ハッチョウトンボなどの希少種の昆虫が多数生息しており、1980年には『鯉ヶ窪湿性植物群落』として国の天然記念物に指定されています。

多くの観光客が訪れ、また、地域の小学生の植物・生物観察や水辺環境教育の場、地域内外の憩いの場として、大いに活用されています。

ため池の水が必要な水田に配水されるように、地元農家で代表者を決めて管理を行っています。また、草刈りは農家と湿原の保全会が共同で行っています。

関連情報

新見市ホームページ

<http://www.city.niimi.okayama.jp>